



墨東の学び

学校通信⑩号 2月末
令和6年2月29日(木)発行
東京都立墨東特別支援学校
校長 田村 康二郎

<報告> 病弱校プログラミング選手権全国大会に出場!

2/1(木) 各地区大会を勝ち上がった全国の病弱特別支援学校の20チームが選りすぐりのプログラミングを武器に、ファイナル・ステージに本校から2チーム出場しました。

【試合結果】第1回戦：青森県立若葉養護学校チーム「YES」と本校チーム「うさぎ・スカイ・ジャイアンツ」が対戦し、『3対0』で敗退。同じく第1回戦の京都府立桃陽総合支援学校チーム「アイディアねえよ何も」と本校チーム「サザンドラ・スノーピー・サケ」が対戦し、『2対1』で勝利。2回戦では、富山県立ふるさと支援学校チーム「栄冠をこの手に」と対戦し、『2対1』で勝利。全国ベスト8に名乗りを上げました。ベスト4を賭けての北海道手稲養護学校三角山分校チーム「三角山A」と対戦し、『1対2』で惜敗

全国に約150校ある病弱特別支援学校の中にあって、堂々ベスト8に入ることができた原動力は、授業で磨いた各自のプログラミング能力とチームとしての協力意識でした。この成果は本校の誇りです。健闘を祝します。

<報告> 都肢体校ハンドサッカー大会に本校が出場!

2/17(土) 武蔵野の森総合スポーツプラザに都内18肢体校のチームが結集し、優勝を目指して競い合いました。



【試合結果】第1試合の花畑学園・水元小合学園連合との対戦では、『11対13』で惜敗。第2試合：国立桐が丘特別支援学校Bとの対戦では、『14対17』で惜敗。一時はダブルスコアでリードし常勝軍団を追い詰めましたが、後半追いつかれました。勝利を得ることはできませんでしたが、パスを回しあうことで得点につながる強みを体得しました。練習の積み重ね、そして大会出場を通して一段の逞しさを得たことが表情から伝わります。

ここに至る教職員の指導とサポート、保護者の皆様の御協力に深く感謝いたします。写真は、試合後、新調した応援幕の下でのチーム写真です。祝：健闘!

肢・病両部門(小中高)の卒業認定会議を開催しました!

2/21(水)に肢・病の両部門全学部卒業認定会議を行いました。①現時点での出席・遅刻早退日数②諸事情で出席できなかった日や休業中の家庭での補充の学習状況(遠隔学習を含む)③身に付けた知識・技能④獲得した思考・判断・表現の力⑤主体的に学習に取り組む態度。この5項目に対し慎重に個別判断し(卒業式当日まで学び続けられるのであれば)卒業可能であるとして対象となる墨東生全員を「卒業認定」しました。該当の墨東生には認定会議翌日に「卒業認定をしたので、卒業式に向けた学習に入ろう!」と伝達しました。(在校生の進級認定会議は3月上旬を予定)

進級認定・修了認定、そして卒業認定とは?

公教育全般については、全て法令等で定められています。学校教育法施行規則第57条には「小学校において、各学年の課程の修了又は卒業を認めるに当たっては、児童の平素の成績を評価して、これを定めなければならない」と示されています。(中学校も同様の規定)つまり、出席日数だけで決まる訳ではないのです。授業態度や学ぶ意欲等を含めた平素(常日頃)の学習の活動成果をもとに決めるという考え方です。また関連する通達により、(病気等も含めた)長期欠席の児童・生徒についても、適切な方法でその成績を評価する事で、卒業認定できるとされています。更に特別な事情があれば、その事情を考慮してよいとされています。

こうした各学年の全課程修了=進級認定、その集合体としての各学部卒業認定は、全て校長が行うことも定められています。そして同規則第58条には「全課程修了者と認められた者に校長は卒業証書を授与しなければならない」と規定され、これが「卒業証書授与式」(略して卒業式と呼称)の根拠となっています。特別支援学校の小・中・高、各学部にも上記法令が適用されます。

卒業認定会議とは?

本校においては年度末の2/21に「卒業認定会議」を開催しました。3月末時点で当該学部での在籍月数が3年分の36ヶ月(中・高)、6年分の72ヶ月(小)に届く見込みの墨東生が対象としてリストアップされます。対象者名簿を作成の上、学級の主任が墨東生一人一人の出席・遅刻・早退・欠席(及びその理由)を一覧にし、これに日頃の学習状況の成果を合わせて、卒業の認定可否についての所見をまとめて、認定会議の場で報告し、質疑・協議を経て、**校長が「卒業認定」を決定した後、「卒業証書」作成に進みます。**

進級認定会議とは？

卒業学年を除く在学生に関しては、各学年の学習内容の履修(何を学んだか)と修得(何が身に付いたか)を確認し、次の学年への進級できるか否かを判断する「進級認定会議」を3月上旬に開催します。学年別対象者名簿を作成の上、学級の主任任が一人一人の出席・遅刻・早退・欠席(及びその理由)を一覧にし、これと日頃の学習状況の成果(及びオンラインも含めた家庭学習等の成果)を合わせて、進級の認定可否についての所見をまとめて認定会議で報告し、質疑・協議を経て、**校長が「進級認定」を決定した後、通知表に付した「学年修了証」の作成に進みます。**

特別支援学校における成績評価方法の特長

特別支援学校の場合は、小・中学校や高等学校の教科書に沿った教育内容に基づく数値評価では、学習成果を的確に評価できない児童・生徒が少なくありません。そうした場合には、通知表や個別指導計画で家庭にお知らせすると同様、学習状況や学習活動成果を文章による表記で評価した上で、公簿の指導要録等に記載します。

「卒業証書」と「賞状」「表彰状」との違い

卒業証書は、法令で定められた全課程修了の証明書と言えるものです。証書の様式や内容は教育委員会が決めます。証書には対象者を特定するために「氏名と生年月日」が明記してありますが、証明書であるため、敬称(～様、～殿、～君、～さん)は付記されません。これは運転免許証等と同様です。お手元に免許証がありましたら御確認ください。敬称は付けていません。敬称を省略したのではなく、あくまで氏名特定の為の記載です。

一方で感謝状・賞状・表彰状等には全て敬称が付きます。特に讃えるべき行いに対し敬意を込めて謝意等を表すからです。証書と賞状等は大きく異なるものです。

卒業証書授与式と卒業生氏名の「呼名」

卒業証書授与時には、教員が「呼名」(コメイ)しますが、全課程を修了した児童・生徒個々を特定して確認するために、授与者の校長及びお客様である参列の来賓等に対し、公簿である卒業生台帳へ記載されたとおりの該当する卒業生「氏名」を読み上げます。この場合、自分の身内には敬称を付けないのと同様、お祝いに駆けつけてくださったお客様に対して、(身内の)卒業生呼名には敬称を付けずに氏名だけを読み上げます。(決して「呼捨て」ではありません。丁寧に心を込めて氏名を読み上げます。)このとき、卒業生が自発的に自分なりの方法で返答する姿から、最後の学習に臨む自覚が伝わってきて心に響きます。(点呼ではないので、返答の義務付けがあるわけではありません。)

この後、壇上で卒業証書を校長が文面通りに読上げ、学府の象徴である校章を刻んだ演壇から本人に授け渡し(=授与)ます。これは大学の学位授与と全く同様の「サズケル」という形態です。《ちなみに、これが表彰状や賞状は授与(式)ではなく贈呈(式)と変わります。サズケルではなくオオ

クリするとなり、意味合いが全く異なってきます。《アカデミー賞でのオスカー贈呈時には、贈呈式の壇上で、プレゼンターと受賞者が左右から歩み寄ってお贈りする形となり、授与とは全く異なるやり方です。》

授与後に参列した方々から全学業を成就した卒業生の不断の努力に対し、拍手が湧き起こる事が常です。

卒業証書授与台帳は何と100年保存です！

卒業証書は、前述のように法令で定められた大切な証書です。卒業証明書は申請があれば卒業後に何回でも発行できますが、卒業証書は再発行できない世界で只一枚の大切な証書です。証書には開校以来の証書番号が入り、上には割印が押されています。この発行に当たっては卒業証書授与台帳(卒業生原簿ともいいます)が基となります。この卒業生台帳には、年度別/学部別に授与日と校長名が記された上で、個々の欄に卒業生氏名、保護者氏名、卒業時住所、証書番号が記され、割印が押されます。この台帳は、永年又は100年保存と定められています。指導要録の保存(規則では学籍記録は卒後20年、指導記録は卒後5年保存の義務付けです。)と比べても際立った長期保存です。これは本人が社会で活躍している一生涯、何時でも卒業証明できるようにするためです。

卒業証書の作成に伴う押印・割印

本校では、前述のとおり卒業式目前の2月以降に卒業認定会議を開催します。その後、卒業認定者に対しては卒業証書授与台帳を整え、卒業証書作成を進めていきます。

卒業証書の卒業生氏名は、特に、プロの筆耕家に依頼して「毛筆の手書き」となっています。担任が証書に筆耕された卒業生氏名を再確認の上で、校長代行として心を込めて校長公印を「印泥」を用いて押印します。さらに台帳に記された事項と相違なく世界に唯一の原本証書であることを証明するために、卒業証書授与台帳の本人欄に証書を重ね、上辺中央に割印を押印して完成させ、式当日まで、金庫に厳重に保管されます。

卒業証書:小中は紙筒に入れ、高はファイルに挟んで！

本校では、小中は一般的な証書用の紙筒、高等部は、証書ファイルを採用しています。証書ファイルは、授与時に持ち易く、写真映えし、家庭で保管しやすい折たたみ型です。

来年度は、小・中・高で色を変えて全学部、証書ファイルを採用する予定です。

<利用開始> 本校舎3階にも図書ラウンドをオープン！

1階のオープンライブラリー、1・2階の図書ラウンドに引き続き、3階のラウンド部分にも暫定オープンしました。主に中高向けの配架ですが、どなたでも利用可能です。蔵書は今後順次増やしていきます！